

認定NPO法人テラ・ルネッサンス

プレスキット

Press Kit 2026年版

願いをチカラに、平和をつくる

設立2001年 認定NPO法人 国連ECOSOC特殊協議資格NGO

www.terra-r.jp | contact@terra-r.jp

カンボジア	ラオス	ウガンダ	コンゴ民	ブルンジ
ウクライナ	ハンガリー	台湾	タイ	日本

本プレスキットは報道・取材目的に限りご使用ください。写真・ロゴの使用については事前にご連絡ください。

目次

Table of Contents

組織概要	3
ミッション・ビジョン・理念	4
活動ファクトシート	5
国別活動紹介	6
代表者・内部理事・事務局長プロフィール	9
受賞歴・認証	10
財務概要	11
メディア向け情報・お問い合わせ	12

01 組織概要

Organization Overview

正式名称	特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス
英語名	Terra Renaissance
設立	2001年10月31日（法人格取得：2005年5月26日）
認定NPO取得	2014年5月30日
本部所在地	〒600-8191 京都府京都市下京区五条高倉角堺町21番地 403号室
TEL / FAX	075-741-8786 / 075-741-7965（月～金 10:00～18:00）
メール	contact@terra-r.jp
ウェブサイト	www.terra-r.jp
Twitter/X	@terra_ngo
理事長	吉田真衣（登記上：新居真衣）
創設者・理事	鬼丸昌也
スタッフ規模	有給職員・現地スタッフ 合計117名
所轄庁	京都府
国連資格	国連経済社会理事会（ECOSOC）特殊協議資格NGO

団体名の由来

「テラ（Terra）」はラテン語で「地球」、「ルネッサンス（Renaissance）」は英語で「再生・復興」を意味します。合わせて『よみがえる地球』という想いが込められています。

設立の経緯

創設者・鬼丸昌也が立命館大学4年生だった2001年2月、初めてカンボジアの地雷原を訪れた際、子どもの笑い声も家族の会話も何もない静寂の空間に衝撃を受けました。「地雷問題を日本人々に伝えることならできる」という気づき、講演活動を始めたことが、テラ・ルネッサンスの原点です。

02 ビジョン・ミッション・活動理念

Vision / Mission / Values

ビジョン（設立目的）

すべての生命が安心して生活できる社会（世界平和）の実現

ミッション

当会の事業を通じ、人々に「次世代に対する責任」を啓発し、それぞれが個人・家庭人・社会人・地球市民として、未来の子どもたちの生活をも視野に入れた生活を実践することにより、人類共通の理想「世界平和」を実現する。

活動理念

1 市民の可能性

私たちは一人ひとりに「未来をつくる力」があると信じ、市民の可能性を追求しています。

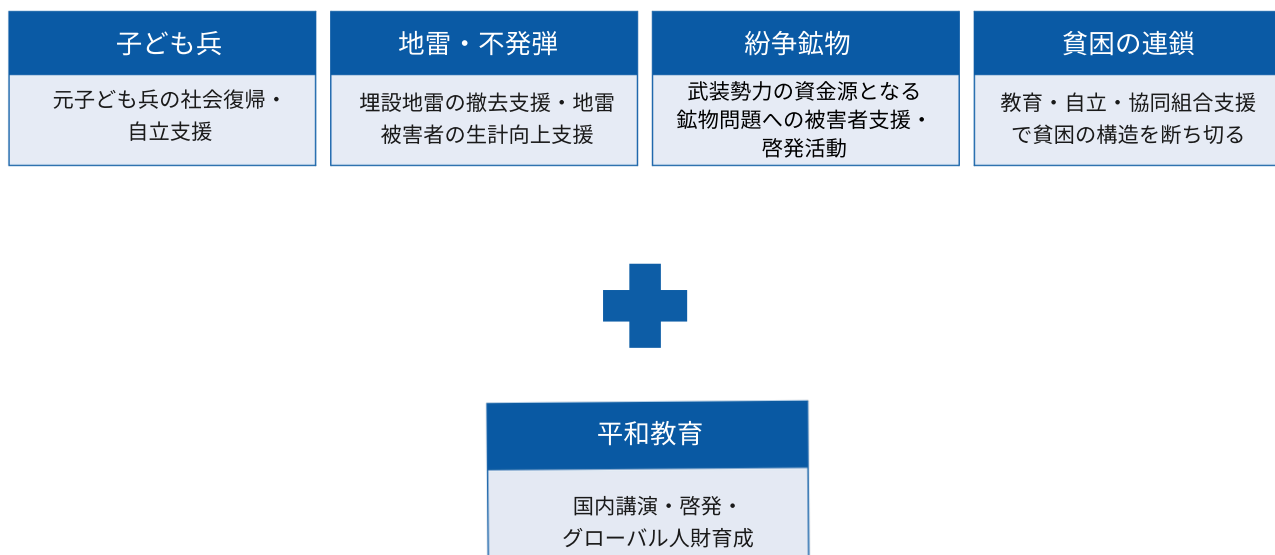
2 変革の主体者

私たちは内なる変化がすべての変化の始まりであり、変革の主体者は私自身であることを理解しています。そして、他人も変革の主体者であることを理解し、相手を尊敬しています。

3 あきらめない

私たちはあらゆることは常に変化することを理解し、あきらめずに活動し続けています。

取り組む4つの課題と平和教育



03 活動ファクトシート

KeyFacts & Figures

主要インパクト数値（2025年度末時点）

10カ国

活動国数

25年

活動年数

3億7,480万円

経常収益

307名

元子ども兵
社会復帰累計

180世帯

カンボジア
家畜支援

2,235名

ラオス
不発弾回避教育

197名

LRA兵士
帰還支援

12.2万人

SASHIKO GALS
Instagramフォロワー

累計634名

台湾事業
啓発講演聴講者数

1,200名超

映画RETURNEES
公開2週間動員

19社

紛争鉱物セミナー
参加企業数

財務推移

年度	経常収益合計	経常費用合計	
2022年度	約3億5,005万円	約3億8,472万円	△3,467万円
2023年度	約4億8,846万円	約4億1,681万円	+7,165万円
2025年度	約3億7,480万円	約4億6,821万円	△9,341万円

04 国別活動紹介

Country Programs



カンボジア（2001年～）

テラ・ルネッサンスの原点。推定400～600万個の地雷が埋設。バットアンバン州に2008年より駐在スタッフを派遣し、地雷被害者を含む障害者家族の生計向上支援、現地の生活協同組合の運営支援などを実施。自然環境との調和の中で、人々の暮らしの土台そのものを再建する「アグロエコロジー（生態系農業）」という考え方を大切にしています。

ラオス（2008年～）

ベトナム戦争中に2億7～8千万個のクラスター爆弾が投下され、世界で最も激しく爆撃された国。2025年度は参加者延べ2,235名に不発弾回避教育を実施するほか、養蜂を中心とする生活向上支援を実施（対象40名全員が養蜂を開始）。不発弾は現在も農地や生活圏に多数残存しており、農作業中の事故が後を絶ちません。テラ・ルネッサンスは子どもたちが不発弾を見分け・避けるための教育プログラムを学校カリキュラムに組み込む、取り組みを進めています。



ウガンダ・グル（2005年～）

反政府組織「神の抵抗軍（LRA）」に誘拐された元子ども兵に職業訓練・心理的ケア・コミュニティへの再統合支援を組み合わせた包括的な社会復帰支援を提供。2023年より、未だにLRAに取り残されている兵士の帰還支援を行なっています。2023年、過去最大規模となる141名が帰還。2024～25年、LRAの2部隊が解体、56名が新たに帰還。残る500名の帰還・紛争終結を目指しています。

ウガンダ・カラモジャ（2022年～）

ウガンダで最も貧困・飢餓が深刻な地域。慢性的な干ばつと土地の荒廃により、住民の66%が貧困、75%の家庭が食料不足。灌漑設備・穀物貯蔵施設の建設、農業技術支援を実施。2024年度は150世帯が農業技術を習得し収入1.5倍以上に。灌漑整備による安定した水の確保に加え、栄養価の高い作物の栽培指導や収穫後の適切な保存方法の普及にも取り組み、食料の安定確保と収入向上の両立を目指しています。

04 国別活動紹介

Country Programs



コンゴ民主共和国（2006年～）

第二次大戦以降、世界最大の紛争（死者540万人）にもかかわらず「忘れられた紛争」。元子ども兵・性暴力被害者の社会復帰支援、地域産品を活用した収入向上支援などを実施。2025年にM23の侵攻激化により南キブ州事業を一時停止、緊急支援を展開。支援対象には、戦闘員として動員された青少年に加え、紛争下で性暴力被害を受けた女性も含まれます。

ブルンジ（2013年～）

世界最貧国の一つ。民族対立による内戦（1993～）と30万人の犠牲者。内戦の傷跡が深く残るブルンジでは、元戦闘員・被害者・一般住民が同じコミュニティで暮らしており、経済的自立が社会的和解の基盤となっています。テラ・ルネッサンスは収入創出活動を通じて住民同士の協働を促し、対立を超えた地域づくりを後押ししています。



ウクライナ・ハンガリー（2022年～）

2022年3月より、支援が届きにくいウクライナ西部・ザカルパッチャ州で避難民と地元住民両方への生活・自立支援を実施。避難民と地元住民が共に集い、学び、祈る場として、総合福祉センターを設立。テラ・ルネッサンスはウクライナ・ハンガリーの両国において、紛争の難を逃れて、避難民、難民となった人たちの生活支援を行っています。

台湾（2022年～）

テラ・ルネッサンスは台湾パートナー団体(現地法人)「国際泰朗全球会」を設立。「東シナ海を平和と連帯の海へ」という構想のもと活動を展開し、テラ・ルネッサンスの活動理念や平和教育を台湾社会に広める取り組みを行っています。講演・啓発活動を通じて市民への理解促進を図るとともに、アジア地域における国際連携のネットワーク拡充を進めています。台湾地震の際には、現地NGOと協働で緊急支援も実施しました。

04 国別活動紹介

Country Programs



タイ（2022年～）

2022年からパートナー財団法人(現地法人)「IV-Thailand」とともにバンコクに拠点を活動を本格化。東南アジアの地理的・文化的中心地であるタイを平和教育のハブと位置づけ、3つの柱で活動を展開しています。①日本・アジアの若者が国境を越えて学び合うグローバル人財育成（課題解決型学習PBL）、②薬物問題等で親が受刑者となった子どもへの奨学金支援、③タイ国境に逃れたミャンマー難民への医療、生活再建支援など。

岩手県・大槌刺し子（2011年～）

2011年の東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県大槌町の女性たちが、東北の伝統手芸「刺し子」を通じて暮らしを立て直すために始まったプロジェクト。現在、数十名の「刺し子さん」たちが作り手として活躍しています。2024年から展開する「SASHIKO GALS」はフォロワー12万人を誇り、刺し子文化を国内外に広く発信しています。



佐賀県・グローバル人財育成事業

2017年に佐賀事務所を設立。2021年7月に学校法人東明館と包括連携協定を締結し「佐賀発の実践的グローバル人財育成事業」を開始。本事業は佐賀県の「企業版ふるさと納税活用型CSO地域課題解決支援事業」に採択されています。

課題解決型学習（PBL）の手法を取り入れ、ウガンダの元子ども兵支援やカンボジアの地雷問題を題材に、高校生が実際の現場課題に向き合い解決策を考案。その提案を現地スタッフが実践に移すという、海外の支援現場と直結した実践的な教育プログラムを展開しています。2022年7月には佐賀事務所を東明館学園内に移転し、学校とNPOが一体となった新しい教育モデルとして注目を集めています。「2023年ユネスコ/日本ESD賞」の推薦事業に選定。

05 代表者・内部理事・事務局長プロフィール

Leadership Profiles



吉田 真衣（登記：新居真衣）

理事長

テラ・ルネッサンスに入職後、国内管理業務を経て、大槌刺し子事業部長として東日本大震災復興支援と事業の基盤づくりを牽引。2023年度より理事長に就任。「願いをチカラに、平和をつくる」という新タグラインのもと、TRI構想（国際運動体への進化）を推進している。



鬼丸 昌也

創設者・理事・大槌刺し子事業部長

2001年、立命館大学在学中にカンボジアの地雷原を訪れ、テラ・ルネッサンスを設立。年間130件超の講演活動を通じて平和教育を推進する「語り部」として全国で活動。著書『ぼくは13歳、職業、兵士。』（合同出版）は学校教材としても広く活用。2002年、（社）日本青年会議所人間力大賞受賞。



小川 真吾

理事・海外事業部長

ウガンダ北部グルに20年以上駐在し、元子ども兵307名の自立支援を直接手がけた。2020年にはコロナ禍でもアフリカに残留し緊急支援を展開。2023年度まで理事長を務め、現在は海外事業部長として現場の最前線を指揮。著書『ぼくらのアフリカに戦争がなくなるのはなぜ？』（合同出版）。第19回中曽根康弘賞 優秀賞



江角 泰

筆頭常任理事・アジア事業マネージャー・カンボジア事務所長

カンボジア・ラオス事業を長年にわたって牽引。地雷被害者の生計向上支援や農業訓練センターの設立など、アジア地域での持続可能な支援モデルを構築している。



佐々木 純徹

事務局長・国際運動推進部長・啓発事業部長

立命館大学法学部卒業後、陸上自衛官として南スーダン国連PKOミッションに従事。紛争と平和の現実を体感したことを契機に国際協力・平和構築の道へ転身。2023年11月より事務局長・国際運動推進部長に就任。2026年2月より啓発事業部長を兼任。

06 受賞歴・認証

Awards & Certifications

主な受賞歴

- 地球市民賞（独立行政法人国際交流基金）（2013年）
- 日経ソーシャルイニシアチブ国際 部門賞ファイナリスト（日本経済新聞社）（2015年）
- 社会貢献者表彰（公益財団法人社会貢献支援財団）（2016年）
- 第4回ジャパンSDGsアワード 副本部長（外務大臣）賞（外務省）（2020年）
- 第52回毎日社会福祉顕彰（毎日新聞）（2022年）
- 第1回SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞「平和の部」（2022年）
- 第18回西日本国際財団アジア未来大賞（公益財団法人西日本国際財団）（2023年）
- 第10回エクセレントNPO課題解決力賞（エクセレントNPOを目指そう市民会議）（2023年）

認証・資格

認定NPO法人	2014年5月30日取得。認定NPO法人への寄付は税制優遇の対象。
国連ECOSOC資格	国連経済社会理事会 特殊協議資格NGO。国際的な政策提言が可能。
ソーシャル企業認証	S認証取得。社会課題解決に取り組む企業・団体として認証。

07 財務概要

Financial Summary

収支概要（2025年度）

費目	金額
経常収益合計	374,795,260円
うち受取会費・寄付金等	255,765,695円
うち受取助成金等	67,439,305円
うち事業収益及びその他収益	51,590,260円
経常費用合計	468,208,244円
うち事業費	430,900,645円
うち管理費	37,307,599円
当期経常増減額	△93,412,984円

主要資金調達源

個人寄付・ファンクラブ会員	月額1,000円～の継続寄付会員（ファンクラブ）が活動の基盤。
法人サポーター	月額5,000円～、全国250社以上の企業・団体からの支援。
ふるさと納税（佐賀市）	佐賀市を通じた個人・法人向けふるさと納税に対応。
外務省・JICA助成	外務省日本NGO連携無償資金協力、JICA草の根技術協力事業等。
国際ファンドレイジング	米国・台湾・欧州からの支援、2025年度は約1,826万円。

08 メディア向け情報・お問い合わせ

Media Information & Contact

取材・掲載についてのガイドライン

- ▶ 取材申請は事前に広報担当（contact@terra-r.jp）までご連絡ください。
- ▶ 現場・受益者の写真・動画撮影は事前許可が必要です。
- ▶ ロゴ・写真素材のご使用は報道目的に限り可能ですが、事前にご連絡ください。
- ▶ 数値・統計の引用の際は「認定NPO法人テラ・ルネッサンス調べ」とご記載ください。
- ▶ 掲載後はご一報いただけますと幸いです（掲載紙・URL等）。

インタビュー対応可能者

理事長・吉田真衣、創設者・鬼丸昌也、海外事業部長・小川真吾をはじめ、各国駐在スタッフへのオンラインインタビューも対応可能です。ご希望のテーマ・日程等をお知らせください。

お問い合わせ先

広報・メディア窓口			
メール	contact@terra-r.jp		
電話	075-741-8786（月～金 10:00～18:00）		
住所	〒600-8191 京都府京都市下京区五条高倉角堺町21番地 jimukinoueda bldg. 403号室		
ウェブサイト	www.terra-r.jp		
SNS	Facebook: @terra.ngo	Instagram: @terra_ngo	X: @terra_ngo